

明日のために

校訓
「初心忘るべからず」
・時間を守ろう
・あいさつをしよう
・学校をきれいに

沖縄慰霊の日におもう

終戦から68年目の「沖縄慰霊の日」(6月23日)、沖縄県糸満市の平和祈念公園で「沖縄全戦没者追悼式」が行われました。

先の戦争において、沖縄は日本で唯一地上戦の行われた場所です。1945年(昭和20年)4月1日からアメリカ軍による攻撃が始まり、6月23日に戦闘が終了しました。最後の激戦地となった沖縄本島南部の糸満市摩文仁(まぶに)の丘には平和記念公園があり、そこにある「平和の礎(いしじ)」という石碑には戦争で犠牲になられた方々の名前が刻まれています。その数は24万余りにものぼります。

約10年前に沖縄に行きました。「ガマ」や「日本軍の地下壕(地下に掘られた基地)」、「ひめゆりの塔」を見学しました。「ガマ」というのは沖縄の方言で鍾乳洞(自然が長い年月をかけて作った石灰岩のほらあな)のことです。沖縄本島には約2000もの「ガマ」があります。戦時中には避難場所や野戦病院として使われていました。

ライトを持って「ガマ」に入りました。入口は狭いのですが、中は意外と広く、ひんやりとしていました。ライトを消すと真っ暗闇で何も見えません。外からの光が全く入ってこないのです。こんな中で息をひそめ、長い間じっと耐えなければならぬことを思うと胸がひどくしめつけられました。

「ひめゆりの塔」とはひめゆり学徒隊の慰霊碑のことです。ひめゆり学徒隊は沖縄県女子師範学校(先生になるための女学校)と沖縄県第一高等女学校の生徒で構成され、おもに沖縄陸軍病院の看護要員として働きました。「ひめゆり平和祈念資料館」には、学徒隊に参加し、犠牲になった12歳から18歳までのあどけない女生徒の写真がこちらを見つめてきます。みなさんと同じぐらいの年頃です。人生でこれから輝き始める年頃に、献身的に働き、戦争の犠牲になったと思うとやりきれなくなります。

また「鉄血勤皇隊」という14歳から17歳の男子生徒も戦争にかりだされ、多くの方は犠牲となりました。沖縄戦では「鉄の雨」「鉄の暴風」と言われるほど、銃弾や砲弾が使用されました。

戦争が終わって68年になりますが、まだたくさんの不発弾が地中に埋まっているそうです。また米軍基地問題は沖縄県民の人たちにとって、大きな負担となっています。

世界にはいまだに、戦争をしている国があります。そして犠牲になっている多くの人々がいます。

この機会にもう一度、一人ひとりが平和について考えてみましょう。

「沖縄慰霊の日に、小学校1年生 安里 有生 君が読んだ詩」

へいわってなにかな。ぼくはかんがえたよ。おともだちとなかよし。かぞくが、げんき。えがおであそぶ。ねこがわらう。おなかいっぱい。やぎがのんびりあるいてる。けんかしてもすくなかなおり。

へいわっていいね。へいわってうれしいね。みんなのころから、へいわがうまれるんだね。

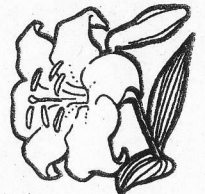
せんそうはおそろしい。「ドーン、ドカーン。」ばくだんがおちてくるこわいおと。おなかがすいて、くるしむこども。かぞくがしんでしまつてなくひとたち。

ああ、ぼくは、へいわなときにうまれてよかったよ。このへいわが、ずっとついでほしい。へいわってすてきだね。

これからも、ずっとへいわがつづくように、ぼくも、できることからがんばるよ。
(一部抜粋)

7月の主な行事

- 1日(月) 期末テスト
- 2日(火) 期末テスト
- 3日(水) 期末テスト
- 4日(木) 1年水泳授業 生徒会専門委員会
- 5日(金) 教育相談日
- 8日(月) 教育相談日
- 9日(火) 1年水泳授業
- 10日(水) 登校指導 2年職業講話
- 11日(木) 1年水泳授業
- 12日(金) 教育相談日 1年喫煙防止教室
- 16日(火) 期末懇談(～18日) 1年クスマッチ
- 17日(水) 期末懇談 3年クスマッチ
- 18日(木) 期末懇談 2年クスマッチ
- 19日(金) 終業式



校長日記

◇普段、平和のことを考えることはない。世界にはまだ戦争をしている地域がある。戦争により命をなくしたり、飢えに苦しんでいる大勢の人がいる◇私の父は16歳で志願し、海軍に入隊した。すぐに終戦を迎え、戦地には行かず済んだ◇小さい頃、母親からよく空襲や疎開の話聞いた◇両親はおかげさまで元気に暮らしている◇どちらかが戦争により犠牲になっていたら、自分はこの世に存在しなかった◇笑顔で生活できていることが平和であり、幸せなんだろう◇明日は久しぶりに両親の顔を見に行ってみよう